

健康・生活科学委員会（第25期・第6回）議事要旨

I 開催日時 令和4年4月18日（月）12:30～13:00

II 会場 日本学術会議5-D会議室 及び オンライン

III 出席者 現地：熊谷 日登美, 小松 浩子, 田辺 新一, 西村 ユミ

ビデオ：多久和 典子, 住居 広土, 宮地 元彦, 安村 誠司, 八谷 寛,
山口 香

欠席者 磯 博康, 杉山 久仁子

IV 議事概要

1 各分科会の活動状況について（これまでの活動と今後の計画）

各分科会の活動状況について、これまでの活動と今後の計画（シンポジウムの開催等）について資料をもとに報告された。

2 各分科会の意思の表出の発出について（今後の予定について）

各分科会の今後の意思の表出の発出について報告された。

3 その他

1) 委員会の共通課題である人材育成について意見交換が行われた。

- ・養成大学協議会などと連携していかなければ、スポーツ人材の養成は難しい
- ・医療保険制度と介護保険制度が並列してあるが、それらの連携（医療と介護）が途切れている。専門職者間での連携・協働の教育が重要
- ・医療・看護・介護の基盤として共通、共同できるカリキュラムを検討していく必要がある
- ・食を通じて病気を予防していくことを小・中学校の教育に組み入れていくことを検討できないか
- ・看護学分科会では、地元創生の観点から看護大学で人材育成を進める拠点とする取り組みをしているが、共通のカリキュラムを検討し、全国の看護系大学で共有していく
- ・少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会では、市民を巻き込んで、企業、行政と共にケアに関する研究や人材育成を行なっていく

2) 第2部の査読委員への健康・生活科学委員会からの選出者について小松委員長より報告された。